

2023年度

学生募集要項

【特別選抜】

学校推薦型選抜

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、試験日程・選抜方法等が変更になる場合があります。

変更する場合は、ホームページ等で速やかにお知らせいたします。

公立大学法人

前橋工科大学



Maebashi Institute of Technology

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地 1

前橋工科大学 学務課入試係

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課直通)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

CONTENTS

□ 前橋工科大学工学部の教育ポリシー	
工学部の入学者受入れの方針、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針……	2
各学群の入学者受入れの方針、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針……	3
□ 特別選抜（学校推薦型選抜）関係日程	5
I 試験概要	6
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
II 試験会場及び試験日時	8
1. 第1次選考	
2. 第2次選考	
III 出願・手順	8
1. 出願方法	
2. 出願期間	
3. 出願手順	
4. 出願書類	
5. 出願先	
6. 入学検定料	
7. 出願手続上の注意事項	
8. 受験票	
9. 障がい等のある入学志願者との事前相談	
IV 受験上の注意事項	13
1. 試験場への入退場	
2. 個人的事情による遅刻の扱い	
3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い	
4. 所持品	
5. 受験心得	
6. その他	
V 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策	15
VI 追試験の実施	16
VII 合格発表	17
1. 発表期日	
2. 発表方法	
VIII 入学手続	17
1. 入学手続	
2. 入学に係る経費	
IX その他	19
1. 個人情報の取扱い	
2. 入学前教育について	
3. ノート型パソコンの必携化について	

天候等の理由で試験の実施に変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

前橋工科大学の3つのポリシー

(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の2学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3ポリシーを定めている。多様な特色をもつ2学群では、それにしたがって、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに3つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

- ・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修させる
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身に付けさせる
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー

[建築・都市・環境工学群]

「入学者受入方針」 (アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。日ごろ目にするものやその環境が学びの対象です。持続的社会的な構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語および英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実施すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては学群共通科目の履修をとおして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、講義の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

[情報・生命工学群]

「入学者受入方針」 (アドミッション・ポリシー)

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンスおよびライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会的形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (あるいは同等の科目)、理科では物理 (物理基礎を含む)・化学 (化学基礎を含む)、生物 (生物基礎を含む) (あるいは同等の科目)、国語および英語で、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」 (カリキュラム・ポリシー)

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目 (工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目) に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに基礎教育科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者として最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、講義の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士 (工学) の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

前橋工科大学特別選抜（学校推薦型選抜）関係日程

出 願 期 間 インターネット出願
2022年11月1日(火)～11月7日(月)



試 験
大学入学希望理由書・活動報告書、推薦書、調査書、基礎学力検査及び面接
2022年11月20日(日)



合格発表
2022年12月2日(金)



入学手続期間
2022年12月5日(月)～2022年12月15日(木)

※上記試験の他、追試験を実施する場合があります。詳細は「VI 追試験の実施」（16ページ）を確認してください。

I 試験概要

1. 募集人員

学部	学群 ^{※1}	プログラム	募集人員 ^{※2}
工学部	建築・都市・環境工学群	建築都市プログラム	7名
		土木・環境プログラム	7名
		工学デザインプログラム	7名
	情報・生命工学群	情報システムプログラム	7名
		医工学プログラム	7名
		生物応用プログラム	7名

※1 学群は学科に相当します。

※2 選考の結果、合格者数が募集人員と異なる場合があります。

2. 出願資格

次の要件をすべて満たす者で、出身学校長が責任を持って推薦できる者。

(1) 次の①から③いずれかに該当する者

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ）を2023年3月に卒業見込みの者
- ② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を2023年3月に修了見込みの者
- ③ 文部科学省が高等学校と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年3月に修了見込みの者

(2) 合格した場合、本学に入学することを確約できる者

(3) 大学入学共通テストのうち、本学が指定する教科・科目の受験をする者（教科・科目については、7ページを参照してください）。

(4) 文部科学省様式の調査書、本学指定の大学入学希望理由書・活動報告書及び推薦書の提出ができる者

(5) 次の要件に該当する者

[建築・都市・環境工学群（土木・環境プログラム、建築都市プログラム、工学デザインプログラム）]

数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲの5科目と、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」の2つの科目群を修得または修得見込みの者

[情報・生命工学群（情報システムプログラム、医工学プログラム、生物応用プログラム）]

数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Ⅲの5科目と、「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の3つの科目群の内、いずれか2つの科目群を修得または修得見込みの者

※ (5) の修得科目と名称が異なるが、対応する科目を履修していると考えられる場合は、調査書の備考欄に同等科目名を記載のこと。

※ (5) の科目群とは、例えば「物理基礎・物理」では「物理基礎」と「物理」の2科目をいう。

※ 本学が実施する総合型選抜と併願することができない。

II 試験会場及び試験日時

- 試験会場：前橋工科大学（試験室等は、当日、1号館受付に掲示します。）
- 試験日：2022年11月20日（日）（本試験）
2022年12月4日（日）（追試験）
- 試験時間：次のとおり
※8時30分より試験室へ入室開始となります。

※9時00分までに、指定された試験室等に入室し、着席してください。

時間	諸注意	9：30～10：30	休憩	11：00～12：00	休憩	13：00～
科目		数学・理科		面接		面接

III 出願・手順

1. 出願方法 <出願はインターネット出願（以下「WEB出願」という。）のみとなります>
出願は、出願期間内にインターネット出願システム（以下「WEB出願システム」という。）により、出願情報等を入力し、入学検定料を納入し、出願書類を簡易書留の速達郵便で郵送することにより完了します。

後述の出願書類、入学検定料の納入を熟読し、不備のないように注意してください。また、受験票の発行及び出願手続きに関する通知は、WEB出願システムを通じて行います。WEB出願システムへ登録したメールアドレスは合格発表まで、常に確認するようにしてください。

2. 出願期間

WEB出願期間：2022年11月1日（火）から11月7日（月）17：00までに検定料の支払を完了してください。

書類送付期限：2022年11月7日（月）必着で「簡易書留の速達」で発送してください。簡易書留の速達以外で郵送した場合、事故があっても本学ではその責任は負いません。ただし、出願期間後11月8日（火）以降に到着した場合でも、11月4日（金）までの発信局消印がある「簡易書留の速達」に限り受理します。

なお、出願書類の受領確認は電話でお答えすることができません。日本郵便ホームページの追跡サービスで確認してください。

3. 出願手順

出願は以下の手順で行います。詳細は出願サイトに記載の「事前準備」や「よくある質問」等をお読みください。

- (1) 事前準備

- ・インターネットに接続されたパソコン、プリンター、メールアドレス（受験終了まで変更や削除の可能性がなく、日常的に確認しやすいもの）、顔写真データ
- ・市販の角2封筒、調査書等

●顔写真データについて

※規格を満たす写真であれば写真店等で撮影したものでなくても構いません。写真プリントの添付や送付の必要はありません。

- ・カラー、白黒問いません。
- ・出願前3カ月以内に撮影した本人の写真であること。
- ・本人のみが写っているもの
- ・正面向き、上半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、無帽、無背景であること（顔に影がないもの）。
- ・目元輪郭を隠していないこと。
- ・ピントが合っていて、鮮明であること。
- ・画像に加工を施していないこと。
- ・ファイルサイズ等
ファイル形式：JPEG、PNG、
ファイルサイズ4MB以内、
縦：320ピクセル、横：240ピクセル以上

※写真店等で撮影する場合は、写真データをJPEG形式で入手することをお勧めします。

※顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。

(2) インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト：<https://e-apply.jp/e/mit/>

大学ホームページ：<https://www.maebashi-it.ac.jp/>

(3) マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済の方は、「(4) 出願内容の登録」へ進んでください。

(4) 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力します。

入学検定料のお支払前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度始めから登録をやり直してください。申込登録完了後の出願内容の訂正は出来ませんので、注意してください。

受付番号（12桁）をこちらにメモ

※申込登録完了後、画面表示されます。ログインする際に必要です。

(5) 検定料の支払い

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy 対応銀行 ATM で支払が可能です。お支払い期限は、申込日を含めて4日間です。（出願締切までの期間が4日より短い場合、締切が優先されます）

(6) 必要書類の印刷

出願登録後、検定料の支払い後にダウンロードできる書類を全て印刷してください。

※A4 サイズで片面印刷、カラー・白黒は問いません。万が一、登録情報に誤りがある場合は、二重線で消して赤字訂正してください。なお、入試区分、志望プログラム、試験会場の変更はできません。

(7) 出願書類の準備

・ 志願票・宛名票の確認

A4 サイズで片面印刷します。カラー・白黒は問いません。万が一、登録情報に誤りがある場合は、二重線で消して赤字訂正してください。なお、入試区分、志望プログラム、試験会場の変更はできません。

・ 出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、8 ページを参照してください。

・ 郵送の準備

角2封筒に宛名票を貼付の上、宛名票のチェックリストにチェックを入れて、志願票・写真票と出願書類を封入してください。万が一、郵送中に宛名票が破損したときに備え、封筒裏面に住所・氏名を記載してください。

(8) 郵送

書類送付期限（日本時間）：2022年11月7日（月）必着

出願期間内に到着するように、郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

(9) 受験票の印刷

書類審査終了後、受験票の印刷が可能になったら、登録したメールアドレスと WEB 出願システムのログイン後の画面で通知します。Web 出願システムにログイン後、受験票 PDF ファイルをダウンロードし、A4 サイズで片面印刷します。カラー・白黒は不問。

《注意事項》

・ 本学から受験票は郵送しません。

・ 受験票は試験日以降、再ダウンロードできなくなります。

・ 印刷した受験票は、基礎学力検査当日に必ず持参してください。

・ 受験票は、試験区分ごとになっています。他の受験日のものと間違いのないよう、確認して持参してください。基礎学力検査期日の10日前までに通知されない場合は、本学学務課入試係までお問い合わせください。

(2) 提出方法

WEB 出願システムからダウンロードした「宛名票」を角型 2 号封筒に貼付し、簡易書留の速達扱いで郵送してください。なお、宛名ラベルが破損したときのために、封筒裏面に出願者の住所・氏名を記入してください。

「宛名票」を貼付した角型 2 号封筒に、出願書類を封入してください。出願書類がすべてそろっていない場合は、受理いたしませんので、十分注意してください。

書類出願期限を過ぎて到着したものは受け付けできません。

5. 出願先（宛名票記載済）

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係〔1号館1階事務局内〕

TEL 027-265-7361（学務課直通）

6. 入学検定料

(1) 入学検定料 17,000円

※ 入学検定料支払い時に別途手数料がかかります。

※ 入試区分、志望プログラムの誤りによる返還はできません。

(2) 支払方法

WEB 出願システムよりクレジットカードによる決済、コンビニエンスストアからの納入、Pay-easy 利用の決済のいずれかを利用し、支払期限内にお支払いください。

使用可能なクレジットカード、取扱金融機関や注意事項は次のとおりです。なお、入学検定料の支払いが完了しないと、出願書類の印刷ができませんので、余裕を持って入学検定料をお支払いください。

支払方法／取扱金融機関	支払期限	その他
クレジットカード ・VISA ・MasterCard ・JCB ・AMERICAN EXPRESS ・MUFGカード ・DCカード ・UFJカード ・NICOSカード	お支払い期限は、申込日を含め4日間です。 (出願締切までの期間が4日より短い場合、締切が優先されます)	受験生本人の名義でなくても構いません
コンビニエンスストア ・セブンイレブン ・ローソン ・ファミリーマート ・ミニストップ ・デイリーヤマザキ ・セイコーマート		
Pay-easy 対応銀行 ATM (ゆうちょ銀行も可) ※	お支払い期限は、申込日を含め4日間です。	受験生本人の名義でなくても構いません

WEB 出願システム経由の Pay-easy ネットバンキング利用可能な金融機関	(出願締切までの期間が4日より短い場合、締切が優先されます)	
--	--------------------------------	--

※ 対象金融機関は、Pay-easy のサイトで確認してください。

(3) 注意事項

一度納付された入学検定料は、次の①～④のいずれかに該当する場合を除き、どのような理由があっても返還しません。入学検定料の返還を受けようとする場合は、出願期間の最終日までに、学務課入試係に問い合わせてください（振込手数料は、本人負担となります。）。

なお、①～④のほか、出願に必要な書類を提出したが、出願が受理されなかった場合又は出願に必要な書類を提出しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。

- ① 二重に納入した場合
- ② 入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
- ③ 出願無資格者であることが判明した場合
- ④ 出願期間後に出願書類の提出があった場合

7. 出願手続上の注意事項

- (1) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
- (2) 出願受け付け後は出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号等に変更が生じた場合は、変更を証明する書類を提出していただく必要がありますので、本学学務課入試係まで連絡してください。
- (3) 出願書類に記入漏れやその他不備のある場合は、受理しないことがありますので、出願の際には十分確認してください。
- (4) 一度受けをした出願書類及び入学検定料は、どのような理由があっても返還しません。
- (5) 募集要項の内容に修正等がある場合は、大学ホームページに掲載しますので出願書類作成前と送付前に確認してください。
- (6) 試験会場は受験票で指定していますので、指定された会場で受験してください。
- (7) 国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含める。）へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限られるので注意してください。
- (8) 本学の学校推薦型選抜の合格者で入学手続きを完了した者は、他の国公立大学・学部の異なる入試区分（前期日程等）に出願しても受験することはできません。たとえ受験しても受験者として取り扱われません。
ただし、「入学辞退」の手続きを行い、入学辞退を許可された場合は、この限りではありません。
- (9) 本学の学校推薦型選抜の不合格者及び合格者のうち入学辞退を許可された者は、他の国公立大学・学部の基礎学力検査等で、分離分割の前期日程・後期日程又は公立大学中期日程の併願について、それぞれ1つずつ、合計3つまでの大学・学部を選んで出願することができます。ただし、当該大学の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験している必要があります。

8. 受験票

- (1) 受験票は、受験生本人が WEB 出願システムからダウンロードし、印刷します。受験票の送付は行いません。
- (2) 受験票は、WEB 出願システムを通じて、2022年11月9日(水) 17:00を目途に印刷可能となる予定です。試験日の3日前になってもトップ画面で通知されていない場合は、お問い合わせください。
- (3) 受験票PDFファイルを各自、A4サイズで印刷し、試験当日に持参してください。
- (4) 受験票には試験室及び集合場所は記載されていません。試験室は試験日当日に掲示します。
- (5) 受験番号は志願者数を示すものではありません。
- (6) 受験票は試験日以降、再ダウンロードできなくなりますので、ご注意ください。
- (7) 万一、試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。

9. 障がい等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある方で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、下記により出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいを負うこととなった場合は、速やかに相談してください。

- (1) 相談時期 2022年9月26日(月)から9月30日(金)まで
- (2) 相談方法
事前に本学学務課(直通027-265-7361)まで電話連絡し、本学で定める相談申請書(住所・氏名・性別・連絡先・志望プログラム・障がいの状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください。)及び診断書等の必要書類を提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。
- (3) 連絡先・提出先
11ページ「5. 出願先」と同じ。

IV 受験上の注意事項

1. 試験場への入退場

- (1) 受験生は、試験開始の30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください
- (2) 駐車場は数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。公共交通をご利用の方は、帰りの交通機関の運行時間等にご注意ください。
- (3) 指定された試験場、試験室以外では、いかなる理由があっても受験は出来ません。

2. 個人的事情による遅刻者の扱い

- (1) 試験開始後、**30分以内**の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません
- (2) 面接試験において、開始時間に不在の場合には、欠席したものとして取り扱います。

3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い

- (1) 公共交通機関の大幅な遅延等による遅刻の場合は、別室での受験を認めることがあります

す。試験場入口の係員に申し出て下さい。

- (2) 公共交通機関の大幅な遅延が生じ、試験当日多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で、全体の試験開始時間を繰り下げることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は責任を負いません。

4. 所持品

- (1) 受験票：試験当日は、**本学の受験票を白色のA4用紙で印刷して必ず持参してください。**
試験当日は常に受験票を携帯する必要があります。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (2) 腕時計：各自で持参してください。**試験室に時計はありません。**また、時計の貸出しは行いません。
- (3) 筆記用具等：試験当日は、筆記用具を必ず持参してください。詳細は**下記参照**。

<試験中に使用を認めるもの>

- ・鉛筆（黒「HB」「B」）、シャープペンシル（黒「HB」「B」） ・消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
- ・時計（辞書や電卓などの機能があるものや、それらの機能の有無が判別しにくいもの
秒針音のするもの・大型のものは不可） ・目薬 ・マスク ・ハンカチ
- ・ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）

<試験中に使用を認めないものの例>

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末等の電子通信機器等
- ・携帯電話、携帯音楽プレーヤー等、音を発するもの
- ・時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能（これらの機能は試験前に必ず解除してください。）
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）
- ・コンパス ・翻訳機、電子辞書、電卓、そろばん
- ・ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン（蛍光ペン等）、付箋
- ・筆入れ（ペンケース）・耳せん

等

- (4) 昼食の販売は行いませんので、必要な場合は各自で用意してください。

5. 受験心得

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は、失格とします。
- (2) 受験票のほか、「試験中に使用を認めるもの」以外の所持品を机の上に置くことはできません。
- (3) 受験票は、試験時に試験監督の指示に従って明示できるよう、受験票の1ページ目が見えるように4つ折りし、机の上の受験番号ラベルの手前に置いてください。
- (4) 携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末は、アラーム機能を止め、本体の電源を切って、かばんに入れ、身に付けないでください。机の上に置けないものは、かばん等に入れ、机の下に置いてください。なお、試験時間中にかばん等の中で音などが発生した場合は、監督者が本人の了承を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。

- (5) 座布団、ひざ掛けの使用を希望する場合は、試験開始前に挙手し、監督者の許可を得て使用してください。
- (6) 耳せんは、試験監督の指示等が聞き取れないことがあるので使用できません。
- (7) 試験時間中に日常的な生活騒音等が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (8) 試験会場では常時マスクを着用していただきますが、顔写真照合を行う際に、一時的にマスクを外していただくことが有ります。
- (9) 公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められた場合、当該年度の本学におけるすべての入学試験において不合格とします。
- (10) 試験時間中は退出することはできません。試験時間中に体調不良又はトイレ等により、やむを得ず退出を希望する場合には、挙手をして監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし受験を中断した場合でも、試験時間の延長は認めません。
- (11) 問題用紙および解答用紙を配付する試験では、用紙に記載してある注意事項をよく読んでください。
- (12) 試験室における受験生間の物品の貸し借りは、一切認めません。

6. その他

- (1) 試験当日に該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- (2) 学生募集要項の13ページから15ページの、IV受験上の注意事項については印刷するなどして持参し、試験当日も確認できるようにしてください。
- (3) 本学では、宿泊施設の斡旋はしておりません。
- (4) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受け付けを行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じてても責任を負えませんので注意してください。
- (5) 試験日前日の午前までに限り、試験会場の下見はできますが、建物内（試験室等）への立ち入りはできません。
- (6) 面接会場には、図面や作品等の持込みを禁止します。
- (7) 新型コロナウイルス感染症等により受験が困難な受験生について、特別な配慮を検討する場合があります。当該感染症に感染又はその疑いが判明した際は、試験当日までに、本人又はその保護者等から学務課入試係まで連絡をください。
- (8) 不測の事態等により試験実施が困難であると判断した場合は、中止又は試験形態を変更する事があります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害について本学は、責任を負いません。
- (9) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。
- (10) その他必要が生じた場合は、後日通知することがあります。

V. 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策

試験場における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、安心して受験できる環境を確保するために、受験生は以下の事項に留意してください。

- (1) 医療機関での受診
試験日の2週間程度前以降に発熱・咳等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関での受診を行ってください。
- (2) 受験できない者

次の場合は受験できないため、追試験の申請を行ってください。

- ①新型コロナウイルス感染症に罹患している場合
- ②試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた場合
- ③試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合

(3) 試験当日の留意事項

- ① 発熱・咳等の症状がある受験生は、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合は、受験を取りやめ、追試験の受験を申請してください。
- ② 試験場出入口にて、検温を実施します。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための取組として、ご理解とご協力をお願いします。
- ③ 37.5度までの熱はないものの、発熱・咳等の症状がある受験生は、その旨を試験場係員等に申し出てください。
- ④ 症状の有無にかかわらず、各自でマスクを持参し、試験時間中の本人確認時や昼食時以外は常に着用してください。試験場内ではマスクを廃棄しないでください。
- ⑤ 試験室入室時は、教室前に設置したアルコール消毒剤で手指消毒を行ってください。
- ⑥ 試験室や面接控室では頻繁に換気を行います。上着などの衣服を持参してください。
- ⑦ 食堂の営業は行わないため、昼食が必要な場合は持参し、自席で食事をとってください。また、休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えてください。

(4) ワクチンの接種

新型コロナウイルス以外の疾患の罹患等のリスクを減らすため、インフルエンザワクチン等の予防接種を検討してください。

(5) 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など体調管理に心がけてください。

(6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード

新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を利用すると、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができ、その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができますので、このアプリの活用を検討してください。

VI 追試験の実施

(1) 追試験日程

- ①試験会場：前橋工科大学（試験室等は当日に受付（1号館）でお知らせします。）
- ②試験日：2022年12月4日（日）
- ③試験実施時間：本試験に同じ

(2) 追試験の対象者

15ページ「(2) 受験できない者」に該当する者

(3) 申請受付期間

2022年11月14日（月）～11月20日（日）17時00分

(4) 申請方法

- ①申請受付期間内に本人または代理人が本学学務課入試係（直通：027-265-7361）に電話し、申請を行う旨を連絡してください。
- ②次の書類を速達扱いで大学へ郵送してください。郵送期限は申請受付期間最終日の翌日必着とします。

（提出書類）

- ・追試験受験申請書（本学所定様式）
- ・受験票の写し

（郵送先）

11ページ「5. 出願先」と同じ。

(5) 追試験受験許可書の交付

申請に基づき、追試験の受験を許可する者に「追試験受験許可書」（本学所定様式）を送付します。

なお、「追試験受験許可証」は追試験当日に必ず持参し、受付に提示してください。

(6) その他

① 「新型コロナウイルス感染症」の感染状況によっては、本対応を含め見直すことがあり、その場合は適宜ホームページ等でお知らせします。

② 対象者に該当するかどうか判断がつかない場合や不明な点は本学学務課入試係（直通：027-265-7361）へお問合せください。

VII 合格発表

1. 発表日

2022年12月 2日（金）（本試験）

2022年12月16日（金）（追試験）

2. 発表方法

合格者には、「合格通知書」及び「入学関係書類」等を速達で郵送します。

(1) 不合格者には通知を行いません。

(2) 電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

(3) 合否照会システム

補助的手段として、パソコン、スマートフォンによりインターネットで照会することができます。

システム利用期間内に下記 URL または QR コードからアクセスし、画面の指示に従って操作してください。照会には、「受験番号」と「生年月日」を使用します。

利用期間：令和4年12月2日13:00～12月6日23:59

合否照会システム URL → <https://www.gouhi.com/mit/>



VIII 入学手続

1. 入学手続

WEB入学手続システムにより、必要事項の入力、入学料を納入のうえ、手続書類の提出を入学手続期間内に完了してください。

入学手続期間内に手続を完了しない場合は、入学資格を失います。

詳細は、合格者に送られる「入学手続案内」をご覧ください。

(1) 入学手続期間・方法

2022年12月 5日（月）～12月15日（木）（本試験）

2022年12月19日（月）～12月23日（金）（追試験）

手続書類の提出は、「郵送」又は本学への「持参」により行ってください。

郵送：簡易書留の速達とし、入学手続期間最終日必着

持参：受付時間は、土日祝日を除く平日9時00分～12時30分、及び13時30分～17時00分

(2) 入学手続に必要なもの

① 本学の受験票（又は合格通知書）

② 令和5年度大学入学共通テスト受験票

③ 令和5年度大学入学共通テスト成績請求票【国公立推薦型選抜用】

④ 入学手続案内で指示するもの

ア 誓約書（本学所定用紙）

イ 学生調査票（本学所定用紙）

ウ 住民票の写し（本籍・続柄は表示不要。マイナンバー（個人番号）が記載されていないもの。） 他

※①は、手続き完了後返却します。

※②、③は、大学入試センターから届き次第、提出いただきます。

(3) 入学手続先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係 [1号館1階事務局]

TEL 027-265-7361 (学務課直通)

(4) 入学手続上の注意事項

① 合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。ただし、入学辞退者としては取り扱いません。

② 必要な書類がすべてそろっていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。

③ 「卒業（修了）見込み」で出願した者が、2023年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学許可を取り消します。

④ 入学料の振込のみでは、入学手続を行ったことになりません。

⑤ 一度受け付けをした入学手続書類及び納入された入学料は、原則としてどのような理由があっても返還しません。

ただし、次のア又はイに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続期間最終日までに学務課入試係に問い合わせてください（振込手数料は本人負担となります）。受理しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。

ア 二重に納入した場合

イ 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

(5) 入学辞退

学校推薦型選抜の場合、合格者が入学を辞退することは、原則として認められません。

ただし、特別な事情により入学辞退を希望する者は、「推薦入学辞退願」（様式は任意）を推薦書発行者と連署のうえ本学学長あてに、必ず簡易書留の速達により2023年2月15日（水）必着で提出し、その許可を得てください。

2. 入学に係る経費

		金額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学手続時
		141,000円 [前橋市内居住者] (注1)	
諸 経 費	後援会費	50,000円	入学前
	同窓会費	20,000円	
	災害傷害保険料 (注2)	4,660円	
	TOEIC受験料	3,130円 [1年次に受験] (注3)	
	学生自治会費	21,000円	入学時
授業料 (注4) (注5)		535,800円	4月 及び 10月

※ 授業料は改定されることがあります。

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者または配偶者もしくは1親等の親族が2023年4月1

日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者としします。(2022年4月1日から2023年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者)

「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、2023年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し(2023年4月1日以降に転出した者は住民票の除票)を提出していただきます。なお、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただきます。

(注2) 災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料(正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。)で、3月31日(金)までに払い込んでください。

(注3) 後援会加入の場合は、2,000円助成

(注4) 授業料の納入については、前期及び後期の2期に分割し、前期分については4月末日までに、後期分については10月末日までに、それぞれ年額の2分の1に相当する額を納入することになります。

また、教科書及び下記「IXその他-3」に示すノート型パソコンの購入等のために別途費用が必要となります。

(注5) 以下のすべてを満たす方は「前橋市出身入学者特待生」となり、1年次の1年間の授業料が半額の減額となります。

①「入学する者又はその配偶者若しくは1親等の親族が2023年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している場合の当該入学者」を適用して入学した2023年4月以降の学部生

②大学入学共通テストにおける次の科目の各得点がすべて全国平均点以上(得点調整が行われた場合は、得点調整の得点とする。)

「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「英語(リーディング)」、「英語(リスニング)」、「『物理』」、「化学」、「生物』」から1科目(高得点のものを採用)

IX その他

1. 個人情報の取扱い

前橋工科大学では、提出された書類及び入学試験の実施によって取得した志願者の個人情報に関係法令を遵守し、次の目的以外には利用しませんので予めご了承ください。

(1) 入学者の選抜、合格者発表及び入学手続業務を行うために利用します。

(2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、本学個別学力検査の受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(3) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

(4) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は教務関係及び学生支援関係の業務、並びに今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために学内でのみ利用します。

2. 入学前教育について

合格者には当大学指定の入学前教育講座(通信教育)を受講していただきます。本入学前教育は、大学入学後の学修へ円滑に移行できるように基礎学力の向上と学習習慣の定着を目

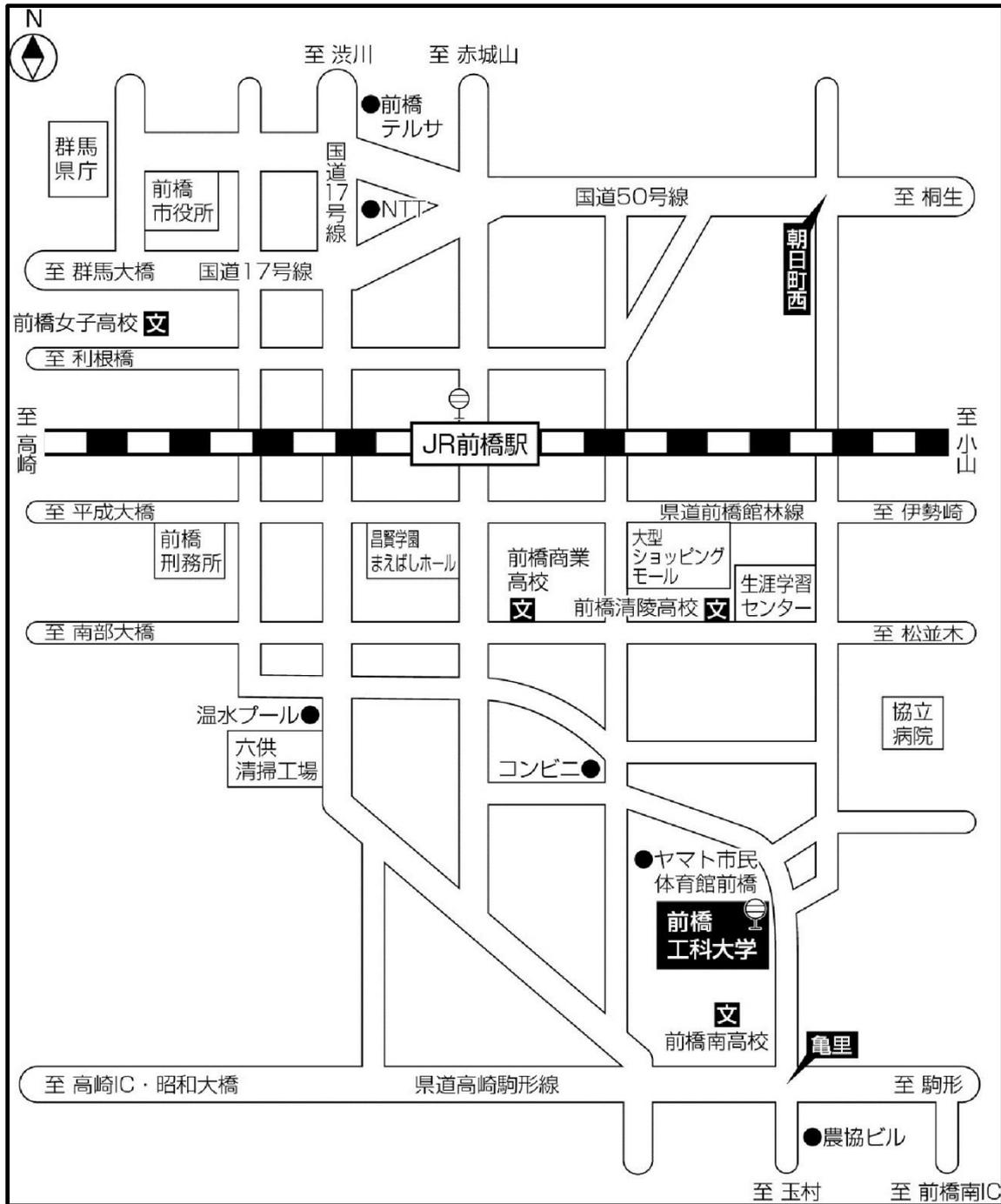
的として実施するものです。期間は教育講座資料配送後～3月末まで。受講料は合格者負担で、21,000円（税別）程度の予定です（尚、受講料は変更される場合があります）。

3. ノート型パソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会における情報通信技術等の修得や ICT を活用したアクティブラーニングの推進、学修環境の充実化を目的として、2021年度からノート型パソコン必携化制度を開始しています。そのため、本学へ入学される方は入学までに各自でパソコンをご準備いただくことになります。

なお、準備していただくパソコンの推奨仕様は、後日大学ホームページでお知らせします。

前橋工科大学案内図



交通機関のご案内

バス JR前橋駅北口4番のりばから約10分 「前橋工科大前」 下車
 [永井バス : 新町玉村線、天川原町經由下川団地線] 片道200円

タクシー 約10分

徒歩 約30分